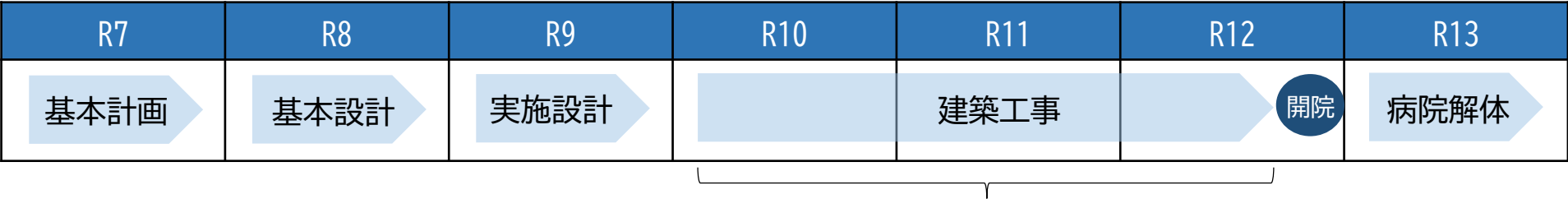


I 仙台医療圏病院再編事業

- 1 概要
- 本県の政策医療の課題解決を前進させるとともに地域医療構想を推進するため、仙台赤十字病院と県立がんセンターの統合による新病院の整備に必要となる経費を補助するもの。
- 2 令和7年度の事業概要
- (1) 対象経費  
 施設の基本設計の実施に向けて、新病院の基本計画を策定する際に必要となる経費
- (2) 補助率  
 1／2以内 ※令和7年度当初予算案に75,295千円を計上
- 3 令和8年度以降の予定
- 地域医療介護総合確保基金等を活用しながら、県として新病院の整備に係る支援（約200億円）を実施する。  
 令和12年度の開院に向けて、以下のスケジュールを想定して統合に向けた協議・検討を進めており、それぞれの工程に応じた支援を予定している。

● 開院までの想定スケジュール



※施設整備のほか、医療機器に係る支援を予定

- 支援額の内訳
- 国の基金等の活用分：約100億円  
 県の単独支援：約100億円 計200億円

## II 仙台赤十字病院と県立がんセンターの統合に関する進捗状況

### 1 基本合意締結後の取組状況

時期	題名	概要
令和5年12月22日	仙台赤十字病院と県立がんセンターの統合に関する基本合意の締結	日本赤十字社、県立病院機構、宮城県の3者で両病院の統合について合意
令和5年12月26日	令和5年度第4回地域医療構想調整会議（仙台区域）	両病院の統合に関する重点支援区域の国への申請について説明
令和6年1月16日	重点支援区域の選定	両病院の統合に係る重点支援区域の申請が国から認められたもの
令和6年4月21日 令和6年4月27日	地域説明会の実施（名取市(4/21)、仙台市八木山地区(4/27)）	仙台赤十字病院と県立がんセンターの統合を中心とした病院再編の方向性等について説明 （いずれも日本赤十字社及び県立病院機構が出席）
令和6年11月14日	基本構想の公表（仙台赤十字病院策定）	基本合意後、日本赤十字社、県立病院機構、宮城県のほか、東北大学を含む4者協議により、新病院が担うべき役割や機能等の方向性をまとめたもの。

### 2 基本構想の概要（令和6年11月公表）

基本構想概要	予定地	名取市植松入生	病床規模	400床程度 ※注 一般359床、MFICU6床、NICU9床、GCU18床、ICU/HCU8床
	運営形態	日本赤十字社が設置・運営		
	コンセプト	ア. 救急車をすぐに受け入れる病院 イ. 安心・安全な出産ができる病院 ウ. 最適ながん医療を提供する病院 エ. 赤十字らしい病院	診療科	標榜診療科35科
	医療機能	救急：救急告示医療機関 周産期：総合周産期母子医療センター がん：地域がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院 災害：地域災害拠点病院、DMAT指定医療機関 新興感染症：協定指定医療機関	職員数	850名程度 ※注
			規模	延べ床面積28,800㎡想定
			スケジュール	令和12年度開院目途
			資金計画	事業費 約300億円 財源 補助金 約200億円 借入金 約100億円

※注 現時点の想定であり、今後協議・検討を行う

### 3 今後の進め方

関係者間での協議を引き続き進めるとともに、外来や手術等の部門別ワーキンググループにより、各部門の機能や規模、運営体制など詳細な検討を実施し、令和7年度に新病院の基本計画を取りまとめる予定